



われわれが政権を取る!

主張 自民党も公明党も反省すべし

小泉・竹中路線を捨て「救国内閣」を!

亀井静香
(国民新党代表代行
衆議院議員)

「無利子非課税国債」を出して200兆円規模のファンドを創出してみせよう

検察は国民に説明せよ

(民主党の小沢一郎代表をめぐ
る事件について)いまの時点で
は小沢代表がいつていること
を信じるしかないが、これは
かつて警察も検察もやったこ
とのない、摩訶不思議な捜査
だということはたしかだ。国
政を変えるという流れに対し
圧倒的な影響を与えることが
わかっていて、なぜいまの時
期にやったのか——そのこと
を検察のトップはきちんと国
民に説明する義務があると思
う。小沢氏が逮捕されたら国
民だって理解できるが、捜査
が秘書だけに終わった場合は、
国民に説明すべきである。

一方、「かんぼの宿」讓
渡問題なんて本当にひどい話
だ。これこそ東京地検特捜部はメ
スを入れるべきだ。1万円が
6千万円に化したというが、
それ以外にも同じようなケ
スがある。転売、転売で仕組
まれて儲けている連中がいる。
これは明らかに責任だ。
その意味で日本郵政公社に
よるオリックスへの「かんぼ
の宿」讓渡は、平成の官有物
払い下げ事件だ。西川善文
社長がやらせたのか、側近が
やらせたのかを含めて、検察
は手をつけるべきだ。これを
やらなければ、東京地検特捜
部は解散したほうがいい。検
事総長も辞めるべきだと思う。
改革の名のもとに、国の財産
を貪り喰った意味において、
そのくらい重大な問題なのだ。
いずれにしても、日本は小

泉・竹中路線の政治をもう継
続はできない。小泉さんが
「改革」として行ったのは、
強者の論理を貫徹させていく
という「破壊」だった。貧し
い人たちをさらに貧しくして
いく政策だ。このことは日本
だけでなく、世界的にもブッ
シュ・ネオコン政治の否定と
いう形で表れている。
そこで米国は変わる。66割
の白人に対し、13割しかない
い黒人を大統領に選ぶという
ドラスティックなことをやっ
た。白人自身がいままでのよ
うな強者の論理の政治、経済
外交を続けていたら自分たち
の生活までダメになると、新
しい政治を始めるためにオバ
マを選んだのだ。これが格差
を是正するとか、弱者に対す

る配慮だとか、貧しい者に対
して国家が手を差し伸べてい
く新しい流れだ。この流れは
米国だけでなく、イギリスな
どヨーロッパも同様だ。
ところが、日本はいまなお
世界が否定した小泉・竹中路
線を引きずっている。安倍、
福田、麻生と、日本だけがト
ポトボとついていくどころか
いまやうずくまっている状態
だ。本来なら、日本はオバマ
の前へ出ていかなければなら
ない。世界的、歴史的な責任
があるはずなのだ。

も民間で消費はできないから、
外国に売るしかないのだ。E
Uはダメ。ロシアもダメ。そ
うなると、中国と日本しか
ないが、中国はそう簡単には
かない国だ。
日本はいままで200兆円以上
取られているが、米国は今後
もつと当てにする。この間、
クリントン(国務長官)が来た
ときに、中国では「米国債を
買っていただいてありがとう」
といったけど、日本では
「一言もお礼をいわなかった。
日本に対しては威張って国民
の税金を奪ってにおいて、それ
はかなわない話だ。」
だから、民主党が勝って政
権を取ったら、オバマの前へ
出ていく政策を掲げるべきだ。
具体的には日本が世界経済を

世界のトップを東京へ

オバマは72兆円の景気対策
をやるといったが、借金まみ
れ。金がない。結局、国債を
発行するしかない。発行して

立て直すために200兆円規模の
ファンドを用意することだ。
そのときにはオバマやサル
コジ、胡锦涛も日本へ呼びつ
ける。

公明党は生活感覚なし

「日本がカネを出すから、T
OKYOへ集まれ!」
こう宣言して世界的金融不
安を払拭するのだ。いまの麻
生首相のように3階、4階か
ら目薬をさすようなチマチマ
したことはなくて、思い切
った、未来につながる内閣拡
大策が必要なのだ。
それには財源が必要だが、
ここでも強者の論理・消費税
ではダメ。もつと大掛かりな

形で財源を確保する方法があ
る。それは私が自民党政調会
長時代にやろうとして、森内
閣で「お蔵入り」してしまっ
た「無利子非課税国債」だ。
これを今年の初めに、読売
の渡辺ツネ(渡辺恒雄)さんに
話をしたら、「それはいい。大
賛成だ」となって、さまざま
な人たちに論文を書いて送っ
たらしい。これには小沢さん
も前原(誠司)さんも賛成して
いることだ。

いま、日本に眠っているカ
ネが1千500兆円以上ある。タ
ンス預金も含め
て。これがどう
したら出てくる
か。消費税や
所得税で取り上
げるべきではな
い。そうならば
あとは借りるし
かない。いまも
国債を発行して
借りているが、
これは有利子。

この利払いだけで20兆円ぐら
いある。だから利息はつけな
い。無利子。だが、これを買
ったら税金を払わなくてもい
い。そのうえで、国税庁に通
達を出す。その金はどこから
来たか、どうやって稼いだか
は問わないと。
そうすれば、1割の150兆円
くらいはすぐ出てくるよ。ど
うせ持っているも、相続する
ときに税金で持っていかれる
のなら、国債を買っておいた
ほうが、税金がかからなくて
得なんだから。利息がつか
ない代わりに、相続税がかか
らないのだから、国も国民もハ
ッピーな話だ。

こういった大胆な政策を打
つていくためには、「挙国一
致救国内閣」をつくる必要が
あると思う。民主党と国民新
党と社民党だけでやっていて
はダメだ。それには次の選挙
で負けるであろう自民党の心
ある人たちとも協力していく
場面もあるかもしれない。
公明党もこのままでは存続
できなくなる。まず、支持母

政党同士の政策協定を

また、私は「政教分離」の
問題をいつてきた。創価学会
は宗教団体として選挙運動を
やってもいいが、それには節
度のある応援をしていかない
といけない。選挙運動が即、
宗教活動みたいに誤解される
ようなことをやってはいけない
い。免税措置を受けているの
だから。そういうことをきち
つとやっていくことが大事な
のだ。その意味でいままでの
ように自民党と持ちつ持たれ
つでは、もうやっていけない
なる。これは自民党も党とし
て反省しなければいけない。

亀井静香は千手観音で何で
も手を出すとされるけど、
私は原則だけはきちんと守っ
てきた。自社政権をつくっ
たときも、政策だけは再三、
精査してやった。たんに手を
握ればよいという話ではない。
私は小沢さんとは、喧嘩し
て、手を握って、また喧嘩し
て2周目になる。小沢さん
は「アンタは人相も悪いが、
性格も悪い」と平気でいつて
いる。彼におべんちゃらはい
えない。だけど、いまアンタ
がやらなきゃいかんというこ
とで手を握っている。無原則
に手を握っているわけではな
いのだ。自民党にも公明党に
も、そこら辺のことをもう一
度考えてほしい。
幸か不幸か、次の選挙後に
小泉さんはいなくなる。だか
ら郵政民営化、小泉・竹中路
線とはおさらばだ。一方で、
日本が100年に一度の危機にあ
ることは間違いない。政党同
士がきちんと政策協定を結ん
で、「挙国一致」で政権を担
う時が来る。